

平成27年度 下半期の環境監視調査結果について

水質調査の結果は、管理目標値を満足していた。

陸生、海生生物については、過去の調査結果と比較しても顕著な変化は見られていない。

項目		調査時期	調査結果概要			
水質	陸域工事排水の水質	10月14日 11月6日 12月8日 1月8日 2月4日 3月8日	管理目標値内であった。			—
			項目	調査結果	管理目標値	
			水素イオン濃度	7.2～7.4	5.0以上9.0以下	
			浮遊物質 (日平均値)	3mg/L 以下	150mg/L 以下	
陸生生物	ハヤブサ	2月23日 3月8, 29日	鼻線島において、雌の親鳥による抱卵行動および雄の親鳥からヒナへの給餌行動を確認した。			写真1
海生生物	潮間帯生物	11月10, 11日	植物ではイシゲ、サビ亜科など27種、動物ではアマガイ、イワフジツボなど30種を確認した。			写真2
	海藻草類	11月10, 11日	クロメ、サビ亜科など26種を確認した。			
	底生生物	11月10, 11日	サザエ、ムラサキウニなど4種を確認した。			
	スナメリ	10月, 3月 (週1回・計8日)	確認回数は計11回、頭数は延べ17頭を確認した。			—
	カクメイ科等の貝類	11月12～14日 2月26～27日	カクメイ科の貝類は確認されなかった。 落石の危険性があるため、安全を考慮して、タイドプール※ 2箇所のうち 1箇所調査を実施した。			—

※ タイドプール:干潮時に海辺の岩場にできる潮だまり

【参考】その他の環境調査結果

○カラスバト

計画地点では姿・鳴声とも確認はなかった。

なお、鼻線島において10, 11, 2, 3月に姿および鳴き声を確認。1月に姿を確認した。(写真3)

○カンムリウミスズメ

1月に延べ6個体(天田島の北東)、2月に延べ11個体(鼻線島の西・南、祝島の北東)を確認した。(写真4)

【調査写真】

写真1:ハヤブサ(3月8日)



雌の親鳥による抱卵行動

写真2:海生生物(11月10, 11日)



イシゲ



アマガイ



クロメ



サザエ

写真3:カラスバト



(2月5日 鼻繰島)

写真4:カンムリウミスズメ



(1月12日 天田島の北東)

以上